

「和の日記」に「和の日記」に参加  
安房支部



安房支部 (三好文雄支部長) は、昨年9月1日に鴨川市天津神明宮で行われた「和の日記」イベントに参加し、安房支部は、全国に先駆けて実施されたもので、安房支部は、催し物の一つである「EN-NICHI」親子で昔遊び(ペーゴマ、けん玉、めんこ)を楽しもう!のコーナーにおいて、来場する家族連れや子供達に懐かしい昔遊びを体験してもらった。当日は天候にも恵まれ、年輩者の中にもペーゴマやめんこで昔を懐かしんで楽しむ姿も見られ、盛会のうちにイベントは終了した。

直後及び被災6時間後における災害対策本部合同執務室に対する状況付与及びその処置に関する助言を行うとともに、終了後、訓練の課題・改善点について所見を提出、同執務室業務向上の資とした。

今回、参加した会員は、第1回災害対策本部合同執務室想定対応訓練として計画・実施された本訓練に参加したことにより、災害発生時の対応について再確認した。次回、同様な訓練が計画された際には、より多くの会員の参加を期待し、積極的に地域社会の発展に貢献していく所存である。

【成田支部長 石橋隆夫】



総務部危機管理課及び第1空挺団参加者とともに



小泉一成成田市長挨拶

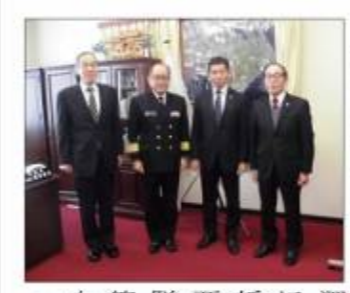
成田市災害対応訓練をボランティア支援

成田支部は、昨年11月8日(木)、成田市災害対策本部が実施する同訓練を支援した。訓練は、13時半から16時半の間、市役所大会議室で行われ、成田空港直下で大規模な地震が発生したとの想定で災害対策本部合同執務室の設置から災害対応までの一連の流れを演練し、庁内体制の強化を図る目的で行われた。

成田支部から支部長以下8名が参加し、発災

河井孝夫千葉地本長着任

自衛隊千葉地方協力本部長 猪森隆彦1等海佐は、昨年12月3日付で第3術科学校副校長に栄転された。猪森1海佐には在任間のご支援・協力に深謝申し上げます。同時に新任務での活躍をお祈りします。後任に那覇基地の第5整備補給隊司令から河井孝夫1等海佐が着任された。小淵会長は、1月29日(火)、河西監事役、



猪森1等海佐(左)と河井孝夫1等海佐(右)ら

手賀沼デュアスロン支援

3月3日(日)、5時半から12時まで手賀沼周辺において259名の選手(うち女子29名)が参加して開催。満園沼南支部長、永岡・金子各理事役、河西監事役を含む会員18名で選手用駐車場の車両統制及びバイク走路の警戒を支援した。「蘇れ 手賀沼」のスローガンのもと昨年同様6回目の大会で柏・我孫子市民大会を兼ねて実施され、吉岡幹雄実行委員長の開会挨拶、浜田穂積県議のスターター、今井勝県議、阿比留義顕市議等来賓や多数の選手家族の応援で大いに盛り上がった。特に秋山浩保柏市長も選手として参加され声援を受けながら雨と寒さの厳しい中完走された。会員は、雨と寒さに負けず、早朝から大会を支援、無事任務を終了し、大会は成功裏に終了した。実行委員の中に

精山事務局長とともに、河井1海佐を表敬訪問、隊友会事業への協力と相談役就任をお願いした。

隊友会は、東日本大震災津波災害の教訓を踏まえた陸自の要望に応じ、現在、「大規模災害発生時、災害派遣出動隊員が部隊又は自身で留守家族の安否を確認できない場合、隊員家族の近傍居住会員が出動隊員家族の安否確認を支援」する事業を推進している。夷隅支部では、支部地域在住の8家族の安否確認の支援を受け、支援会員を割当て、2月現在で、そのうち2家族と顔合せを完了し、災害発生の有事に備えた。

は、審判を含め会員が多数おり、大会運営に貢献している。【県監事役 河西伸人】



バイク走路警戒



選手用駐車場誘導

県隊友会通常総会のお知らせ

平成31年度千葉県隊友会通常総会は、次により開催することとなりましたのでお知らせします。

千葉県隊友会 会長 小淵 信夫

1 日時 4月17日(水) 13時~14時40分

2 場所 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区中央1-11-1)

3 参加者 支部長等及び各支部長の指名する代理人(総会に参加しない会員は、支部長等及び代理人に議決権を委任したことになります。)

4 議案 第1号議案、第5号議案(概要は以下のとおり。)

◆西日本7月豪雨災害派遣に際し、本県から派遣された空自第1高射隊及び需品学校需品教導隊に激励品を贈呈した。

◆県内各駐屯地業務隊等からの家族支援協力要望に対し、流山・松戸・鎌ヶ谷・船橋・白井・佐倉・山武東金・東総・香取・成田・千葉中央・市原・長生・夷隅・木更津・安房各支部長の協力を得て、支援会員を割当て、一部の家族との顔合せを完了した。

◆四街道、松戸、習志野、市川及び千葉稲毛各支部長の協力を得て、招集訓練に参加した予備自衛官に対し講話を実施した。

◆11月10日、下志津駐屯地において斎行された平成30年度自衛隊殉職隊員千葉県追悼式に会長及び各支部長総勢22名が参列した他、下総航空基地及び館山航空基地追悼式に会長、副会長、近傍支部長・会員及び県理事役が参列した。

◆千葉県護国神社春季及び秋季大祭前の土日に会員有志延べ64名が参加、神社境内の清掃を行うとともに春・秋大祭当日、同じく延べ27名が交通統制の奉仕を行った。会長は大祭に参列した。

◆5月26日斎行された県護国神社内「ああ特攻勇士之像」慰霊祭に安達副会長以下8名が参列した。

◆各支部は、地域の慰霊祭に参列するとともに地域所在慰霊碑周辺の草刈・清掃奉仕を行った。

◆各支部は、地域の防犯指導、学童交通指導、清掃奉仕活動に協力した他、沼南支部は、手賀沼トライアスロン大会等を支援した。

◆会勢拡大PTで県内駐屯地・基地毎に近傍支部長等及び理事役を入会促進委員会に指定し、退職予定隊員を掌握、入会勧誘を行った。

◆下総・下志津・館山各基地・駐屯地において司令、主要幹部及び最先任上級曹長・伍長等に対し、隊友会の意義、入会メリット、活動状況等を説明するとともに

に懇談会を行い、本会に対する理解を深めてもらい、入会促進を図った。

◆正会員に対しては、隊友新聞、隊友千葉だより等を配付するとともに、特別会員には、隊友新聞、千葉だよりの他にディフェンス及び防衛開眼を配付した。

◆県計画で38名の会員が参加、松戸駐屯地の関東補給処松戸支処及び需品学校を研修した。

◆県隊友会ホームページを1回基準で更新、在葉部隊及び県隊友会の活動を紹介した。

◆5月、木更津支部が幹事となり、第12回県隊友会ゴルフコンペを開催し、天候に恵まれ62名の会員が参加、融和・親睦を図った。団体戦の部で四街道支部が優勝した。

◆21個支部及び東葛地区支部連合会で支部総会を開催した。

隊友千葉だより

平成31年3月号(No.58) 千葉県隊友会事務局



〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096  
電子メール chibataiyuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibataiyuu.com/

◆【第1号議案】平成30年度事業報告(案)

◆災害情報ネットワーク・災害情報協力員制度を維持し、自衛隊に協力した。

◆災害時、県災害対策本部への要員派遣及び県防災備蓄品の抽出作業の支援を主な内容とする千葉県との防災協定に基づき、第1回九都県市合同防災訓練域内応受図上訓練に会長以下10名で参加するとともに、各支部は、所在地域振興事務所等と連携し、県防災備蓄倉庫からの備蓄品抽出訓練を行った。

◆各支部地域で実施された防災訓練に安房支部及び成田支部が参加・支援した。また、会長以下、夷隅・山武東金・市原・長生・安房・市川・館山各支部長等会員29名は、8月29日、勝浦市勝浦中学校を中心に実施された第39回九都県市合同防災訓練(千葉県会場訓練)を研修した。

◆10月、四街道・千葉若葉支部等会員総勢29名で下志津駐屯地追悼式場「鎮の庭」の樹木剪定・清掃を行い、殉職自衛隊員千葉県追悼式の整齊たる実施に寄与した。

◆3月に実施された県自衛隊家族会主催の平成30年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会を共催した。

◆【第2号議案】平成30年度決算(案) (平成31年2月末現在)

◆収入 881万1千652円(当年度収入)②⑤ 487万4千314円

◆前年度繰越額 393万7千338円 ②会費収入 350万8千570円 ③寄付金収入 58万6千円 ④事業収入 42万4千979円 ⑤雑収入 35万4千765円

◆支出 488万7千867円

①事業費 172万7千260円 ②管理費 315万4千407円 ③予備費 6千200円

◆次年度繰越額 392万3千785円

◆【第3号議案】平成31年度事業計画(案)

1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊とのかけ橋として相互の理解を深めるとともに、防衛意識の普及高揚に努め、国の防衛及び防災施策、自衛隊諸業務などに対する協力・支援、慰霊顕彰事業並びに地域の健全な発展に寄



与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に寄与する。

このため、公益目的事業を更に充実することにより活動の活性化を図るとともに、会勢の維持・拡大、収益事業等の強化により会基盤の充実を図る。この際、会員の福利と親睦のための事業を継続しつつ会の魅力化に努める。

特に、今年度は、千葉県との防災協定に基づく訓練、家族支援協力への取組みを重視する。併せて、引き続き、会勢の維持・拡大、県役員・支部長の後継者の確保等、内部態勢の充実に努めるとともに、憲法改正気運の高まりに応じ、憲法改正運動に積極的に協力する。

### 2 主要実施事業

◆県、支部は、それぞれ防衛講演会を開催する。  
◆防災ボランティアPTをもって、災害情報協力員制度及び防災ボランティア組織の補備・強化の促進等について検討し、ボランティア体制の発展・充実を図る。

◆千葉県と防災協定に基づき、災害時、県の要望に応じ、県対策本部の支援及び県防災備蓄倉庫から支援物資の払出しを支援する。このため、平時から県災害対策本部の訓練に参加するとともに、各支部は、支部地域の県地域振興事務所等と連携し、支援物資の払出しに係る訓練を実施する。

◆災害発生時、県で防災ボランティア組織を編成し、被災地に赴き自治体のニーズに応じた被災者の救援活動に貢献する。

◆自衛隊、地方自治体、町内会等が行う防災訓練に機会を求めて参加（研修・支援）し、また、災害発生時の情報収集支援等に協力する。

◆3月の入隊者予定者激励会を共催・支援する

とともに、地元で密着した募集情報及び就職援助情報を収集し、関連情報を自衛隊千葉地方協力本部及び募集事務所へ通知する。

◆隊員家族の支援協力に関する隊友会、自衛隊家族会及び陸上幕僚長との中央協定に基づき、県内各駐屯地業務隊長等の支援要望に応じ、県自衛隊家族会と協力し、支援会員の割当て、顔合わせを行う。大規模災害発生時、業務隊等からの要望に応じ隊員家族の安否確認等を支援する。

◆海自第3術科学校実施の中級管理講習での隊友会紹介を県で担任する。

◆柏の葉公園総合競技場、習志野・松戸各駐屯地で試合が行われる国際防衛ラグビー大会（ミリタリーワールドカップ）を支援する。

◆県護国神社大祭奉仕、地域慰霊祭参列、戦没者・殉職自衛隊員慰霊清掃支援を行う。

◆予備自衛官の招集訓練実施時、支部長等による防衛講話を実施する。

◆各支部は、市民講座、スポーツ大会等の地域活動を支援する。

◆「美しい日本の憲法をつくる千葉県民の会」の活動及び憲法改正市民の会などの活動に参加するとともに、情勢に応じ、憲法9条改正チラシの街頭配布活動を実施する。

◆会勢拡大PT等をもって、隊友会本部及び在業部隊と連携し、各種施策を講じ、会勢の拡大を図る。

◆隊友新聞、隊友千葉だより等を配付する。

◆県隊友会HPを適時更新する。

◆引き続き、丸大食品、セレモア及び本部施策の収益事業を行う。

◆5月21日、県内ゴルフ場で第13回県隊友会ゴルフコンペを開催する。

## 平成31年1月・2月入会者

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

【敬称略・順不同】

- 【船橋】 小野 誠二(陸)
- 【市川】 大川 雅人(空)
- 【市川】 半田 昇(陸)
- 【八街】 岩井 勝己(陸)
- 【柏】 長谷川 敏夫(陸)
- 【柏】 荒木 淳一(空)
- 【浦安】 山崎 嘉樹(陸)
- 【船橋】 島村 雄司(海)
- 【柏】 石井 栄樹(陸)
- 【印西】 川端 宏務(海)
- 【船橋】 柏倉 克巳(陸)
- 【沼南】 河野 俊一(海)

## 各地で支部総会等を開催

### ◆夷隅支部新年会(高橋清三支部長)

今年度の新年会(総会)は、1月24日(木)、14時から勝浦市鶴原の高台にある「かんぼの宿」勝浦で、支部員10名が参加、一泊2日で行った。

支部は今年度活動方針として、昨年度末新たな社会貢献事業となった①千葉県夷



【第4号議案】平成31年度予算(案)  
◆収入1939万4千285円(当年度収入②5547万5000円)

①前年度繰越額392万3千785円 ②会費収入369万円 ③寄付金収入105万円 ④事業収入40万円 ⑤雑収入33万5000円  
◆支出632万4千円

①事業費298万円 ②管理費334万4千円

◆次年度繰越額307万2855円

### 【第5号議案】役員交代

◆新任 会長 安達孝昭(海)、副会長 神原誠司(陸)、日向錦次郎(海)、青木清治(空)、理事役 白戸孝行(陸)、松戸支部長 多田紀幸(陸)、流山支部長 田坂徹夫(陸)、県顧問 小淵信夫(陸)

◆退任 会長 小淵信夫(陸)、副会長 安達孝昭(海)、理事役 日向錦次郎(海)、青木清治(空)、東葛地区支部連合会会長(廃止) 豊嶋尉史(陸)、松戸支部長 藤原陸浩(陸)、流山支部長 庄子彰(陸)

## 北方領土返還要求全国大会

2月7日(木)、北方領土の日、11時10分から13時20分まで東京の国立劇場大劇場で北方領土返還要求全国大会実行委員会の主催で元島民、各政党代表、返還要求運動連絡協議会幹事団体(自衛隊家族会もこのうちの1つ)、同構成団体などが参加して開催。大会は2部構成で行われ、第一部「トーク」では、児玉泰子実行委員会事務局長の司会で元島民代表、石垣根室市長、石川NHK解説員が領土返還への思い、提案を述べた。

雄会員、田中良三会員(兩名とも下総基地勤務経験者)を含む総員22名が参加、来賓の方々にご挨拶をいただき乾杯、しばらく懇談の後、白井支部恒例の参加者全員による3分間スピーチで賑やかに和気あ



いあい有意義な時を過ごした。

### ◆沼南支部総会(満園哈爾爾支部長)

2月16日(土)、18時から市内パレット柏において正会員18名が参加。30活動報告、今後の活動等について了承。その後、海自下総教育航空群司令福島博一(一等海佐)から講話をして頂いた。下総基地の概況、災害時における基地の役割、北朝鮮による「瀬取り」の実態、



今、話題となっている韓国海軍艦艇によるレーザ照射問題について公開資料に基づき説明され、秋山柏市長、浜田ほずみ県議を含む聴講者一同、興味深く聴いた。懇親会には、福島1海佐、秋山



第2部「式典」では、大会実行委員長挨拶に続き、安倍総理、河野外相が国会の合同を縫って参加、安倍総理は、挨拶の中で「ソ連が侵攻後もしばらくはロシア人と日本の島民が一緒に暮らしていた。

そのときの写真をフーテン大統領に見せた。島において日本人とロシア人が共に、ときにはお互いに笑顔を見せながら暮らしている。それが可能なんだということも大統領に知って頂いた。」北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する。この決意をしっかりと改めて表明をさせて頂く。」と述べられた。また河野外相は「1956年共同宣言には、まさに私の祖父・一郎が日本政府の全権代表の一人として署名した。その思いを引き継ぐ者として、そして交渉責任者として一層尽力していく」と挨拶された。その後、各界各層代表が、それぞれの立場で運動を継承し、高める決意を述べた。



北方領土返還に関する標語募集優秀賞受賞 岡山市立足守中学校生徒 岩本彩瑛さんの感想発表 「切り開け 新たな未来 しま返還」

柏市長、浜田県議、阿比留義順柏市議(柏支部長)を来賓に迎え、また柏支部の鈴木通彦・岩崎茂・佐野英良各会員なども加え、支部会員と懇親を深めた。県から河野県顧問、安達・田中各副会長、県理事役、小渡監事役が参加した。

### ◆成田支部総会(石橋隆夫支部長)

2月23日(土)、11時から成田市市ひかたや第2支店において正会員17名が参加。来賓として小泉一成成田市長(成田市自衛隊協力会会長)、林幹雄衆議院議員秘書鈴木一樹氏、小池正昭千葉県議会議員、鈴木英吉富里市議会議員、齋藤浩大日精化職域支部長などが出席された。

総会で30事業報告、31活動予定等を審議した後、懇親会に移った。穴見会員のハーマニ力演奏、朝日前支部長の日本舞踊(祝賀の舞)、昨年11月8日に行われた成田市災害対策訓練(支部会員8名参加)の参加所見、参加者全員の近況報告など、大いに盛り上がった。

